

2) 2025年度 IPW演習（リハビリテーションと生活空間デザイン）

日 程：2025年11月29日（土）12:15～17:00

会 場：日本工業大学（対面）

【授業（演習）の目的・概要】

日本工業大学建築学科生活環境デザインコースと埼玉県立大学理学療法学科を中心とする保健医療福祉分野の学科が連携し、**IPW 演習（リハビリテーションと生活空間デザイン）**を実施している。

この授業では、**保健医療福祉分野（主に理学療法）と建築分野の学生による混合チーム**（1チーム3～4名）で、実在する協力者（脊髄損傷による下肢機能障害）の退院に合わせた生活環境整備として、「身体機能にあわせ、できるだけ自立を可能にする住まい」であり、暮らしを豊かにするための「各種サービス（フォーマル・インフォーマル）の利用」、「地域との交流」、「生きがいの創出」等を考慮した環境の整備について考案する。そのグループワークを通してIPWにおける**チーム形成プロセス**、および**チームによる課題発見・解決策等の討議の体験**、そして、この体験を振り返り（**リフレクション**）、意味づけ、**自分の課題を見出す**ことを目的としている。



全体オリエンテーション

チーム活動（作図・討議）

報告会（発表）

	日本工業大学 建築学部	埼玉県立大学 保健医療福祉学部
学科	建築学科生活環境デザインコース	理学療法学科
学生	「福祉空間の設計」履修者（2年生24名） ※2024年度:23名	「地域理学療法実習」履修者（3年生12名） ※日工大履修者の1/2で配置
内容	12:15～13:05	1) オリエンテーション（チーム毎に着席） 2) あいさつ、「事前自己評価」の実施※写真撮影の許可 3) 本日の授業の説明・タイムスケジュール等 4) ディスカッション課題説明 5) ディスカッション方法の補足説明 6) アイスブレイク：自己紹介等
	13:10～15:10	グループディスカッション開始（120分間）※各グループで適宜休憩を挟む
	15:15～16:40	報告会（85分間） 1チーム5分発表 全体ディスカッション
	16:40～17:00	総評、「事後自己評価」の実施、終了